

2024年度 環境経営レポート



かをり。それは時と感性の記憶です。
私たちは、皆様の生活と健康に貢献できる
香料の開発に取り組んでいます。

活動期間：2024年1月1日～2024年12月31日

発行日：2025年4月24日

宮坂香料株式会社

組織の概要

事業者名	宮坂香料株式会社
代表取締役	宮坂重毅
所在地	埼玉県上尾市中新井403番地
設立	昭和23年3月17日
資本金	2千万円
売上高	860百万円
従業員数	49名
延べ床面積	3134.99㎡
事業の概要	香料の製造販売及び輸出入
認証対象範囲	全組織・全活動
環境管理責任者	環境管理責任者 井上三重
連絡担当者	環境管理事務局 吉田克準
事業所	本社
	東京都中央区日本橋本町1-4-9 日本橋MMビル3階
	TEL. 03-3241-6101(代表) FAX. 03-3241-6460
	食品研究所
	埼玉県上尾市中新井403番地
	食品香料工場
	埼玉県上尾市中新井403番地
	香粧品研究所
	埼玉県上尾市中新井448-9番地
	香粧品香料工場
	埼玉県上尾市中新井448-9番地

環境経営方針

〈基本理念〉

宮坂香料株式会社は経営ビジョンにある技術力・創造力・実行力で香料製造に伴う環境への負荷削減及び地球環境保全、地域環境活動に全従業員とともに継続して自主的・積極的に取り組みます。

〈活動方針〉

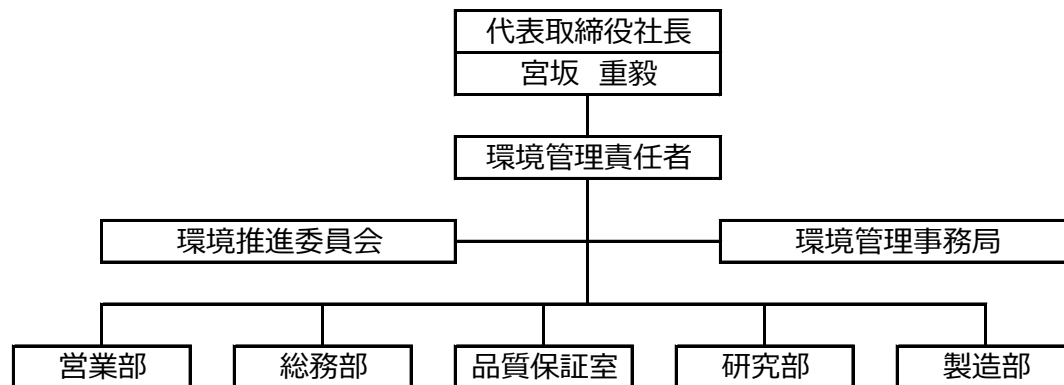
1. 環境経営方針、環境経営目標を達成するために適切な組織を構築し、目標を定めて毎年定期的見直しを行うとともに必要な場合は臨時に見直しを行います。
2. 環境関連の法規、条例及び当社が合意したその他の要求事項を遵守し、実行します。
3. 当社の事業活動が環境に影響を与える以下の項目に取り組みます。
 - ①省エネルギー推進、CO₂削減（電力使用量抑制、車の燃費向上他）
 - ②廃棄物の削減及びリサイクルの推進
 - ③節水活動
 - ④化学物質の管理の徹底
 - ⑤製造工程の見直し改善による原材料ロスの削減
 - ⑥地域活動への貢献
4. 環境経営方針達成のための取り組みを会議や朝礼を利用し周知徹底を行い、全従業員を挙げて環境活動を推進します。
5. 環境レポートを公表し、透明性のある環境保全活動に努めます。

2024年1月19日

宮坂香料株式会社 代表取締役

宮坂重毅

組 織 図



	役割・責任・権限
代表取締役社長	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員に周知 ・環境目標・環境活動計画書の承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書の確認 ・環境活動の取組結果や遵守評価の確認と代表者への報告 ・環境活動レポートの確認
環境管理事務局	・環境管理責任者の補佐及び環境推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付と地域事務局への送付）
環境推進委員会	・環境に対する小集団活動の取りまとめ ・各部門における環境経営システムの実施 ・各部門における環境方針の周知 ・各部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・各部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・各部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成
全従業員	・環境方針の理解と環境取り組みの重要性の自覚と実行 ・環境活動で決められたルールを守り、自主的・積極的に実践

環境目標

環境方針	基準年度	単位	2024年
	2022年(1月～12月)		1月～12月
電力削減	—	増減率	-2.0%
	224,887	k W h	220,389
都市ガス削減	—	増減率	-2.0%
	15,500	m ³	15,816
LPG削減	—	増減率	-2.0%
	4,481	k g	4,400
ガソリン使用量の削減	—	増減率	-2.0%
	1,250	ℓ	1,225
二酸化炭素削減 (参考値)	—	増減率	-2.0%
	153,554	k g - C O 2	150,483
産業廃棄物削減	—	増減率	-2.0%
	22,537	k g	22,086
一般廃棄物削減Z(本社)	—	増減率	廃棄物量 の調査
	データなし	k g	
一般廃棄物削減（工場）	基準年（2023年）	増減率	-1.0%
	1390	k g	1,376
水使用量削減	—	増減率	-2.0%
	958	m ³	939
化学物質管理			化学物質の管理の徹底
地域貢献活動（工場周 辺の清掃活動）	—		毎日

*1:電力、燃料等は使用量（削減量ではない）を示す

*2:基準年度に対する増減率

歩留り向上以降の項目は目標値の設定ができないために、取組方向を示す

手順：①環境責任者は毎年作成し、社長が承認する。

②環境経営方針の改訂、又は売上高、営業方法等を大幅に
変更するときには環境責任者は改訂し、社長が承認する。

使用停止後3年間保管

環境目標（中長期）

環境方針	基準年度	単位	環境目標		
	2022年度		2024年度	2025年度	2026年度
電力削減	—	増減率	-2.0%	-3.0%	-4.0%
	224,887	k W h	220,389	218,140	215,892
都市ガス削減	—	増減率	-2.0%	-3.0%	-4.0%
	16,139	m ³	15,816	15,655	15,493
LPG削減	—	増減率	-2.0%	-3.0%	-4.0%
	4,490	k g	4,400	4,355	4,310
ガソリン使用量の削減	—	増減率	-2.0%	-3.0%	-4.0%
	1,250	ℓ	1,225	1,213	1,200
二酸化炭素削減 (参考値)	—	増減率	-2.0%	-3.0%	-4.0%
	153,554	k g - C O 2	150,483	148,948	147,412
産業廃棄物削減	—	増減率	-2.0%	-3.0%	-4.0%
	22,537	k g	22,086	21,861	21,636
一般廃棄物削減（本社）	基準年（2024年）	増減率	廃棄物量(kg) の調査	-1.0%	-2.0%
	データなし	k g			
一般廃棄物削減（工場）	基準年（2023年）	増減率	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	1390	k g	1,376	1,362	1,348
水使用量削減	—	増減率	-2.0%	-2.0%	-3.0%
	958	m ³	939	929	920
化学物質管理			化学物質の管理の徹底		
地域貢献活動（工場 周辺の清掃活動）	—	回数	毎日	毎日	毎日
		回			

*1:電力、燃料等は使用量（削減量ではない）を示す

*2:基準年度に対する増減率

歩留り向上以降の項目は目標値の設定ができないために、取組方向を示す

手順：①環境責任者は毎年作成し、社長が承認する。

②環境経営方針の改訂、又は売上高、営業方法等を大幅に

変更するときには環境責任者は改訂し、社長が承認する。

使用停止後3年間保管

環境活動計画と実績、次年度の取組み

対象期間 2024年1月～2024年12月

活動項目			責任者	単位	達成状況		評価	次年度の取組み
					目標	実績		
二酸化炭素 排出量の削減	本社 工場	電力使用量の削減 ・冷房 2 8℃、暖房 2 2℃ ・空調機のフィルタ・フィン清掃 ・消灯、不要電気OFF ・コンプレッサーエア漏れ点検 単位：kW時 ・送風機のインバーター化 ・クールビズの実施	土方	Kwh	220,389	183,846	○ × ○ ○ ○ ○ ○	累計目標より、大幅に累計実績 が少なく、今年度もLEDに変えた 効果が出ていた。活動項目として は、クールビズの実施の項目を増 やした。これからも節電を心掛け、 さらに電力使用量の削減を目指 していきたい。
		ガソリン使用量の削減 ・エコドライブ10の実施 ・ルートの検討 ・走行距離記録	新木	ℓ	1,225	1,137	○ ○ × ○	引き続きエコドライブ10の周知を 行い、各自念頭において運転す る。今後研究の車を2台⇒1台で 運用するため、さらにガソリン使用 量が減ることが見込まれる。
		L P G使用量の削減 ・ボイラーの断熱 ・湯銭槽へ蓋設置	加藤	k g	4,400	3,723	○ ○ ○	10回から6回と プ 0ℓ の補充 が少なかった為、かなり良い結果と なった。次年度も目標値以下を 目指し声かけ等を徹底する。
		都市ガス使用量の削減 ・冷房 2 8℃、暖房 2 2℃ ・空調機のフィルタ・フィン清掃	加藤	m	15,816	16,227	× × ○	昨年同様目標値は上回っていま すが、日々の努力により目標値ま での数値の差が少なくなった。引き 続きサーモレーター等の使用を進め る。
		二酸化炭素排出量の削減 ・電力削減とLPG削減の記載内容	新木	Kg-CO2	150,483	132,508	○ ○	引き続き節電パトロールを行い、 使わない場所の電気を消すよう 声掛けをしていく。
産業廃棄物の 削減	工場	産業廃棄物の排出量削減 ・分別の徹底とリサイクル ・リサイクル率の向上	兼杉	k g	22,086	29,794	× ○ ○	数値は上回ってしまったが一般廃棄 物との分別をしっかりすることで削減 につながっているため引き続きしっか り行っていきたい。
一般廃棄物の削減	本社	一般廃棄物の排出量削減に向けて廃棄量を調査	板垣	k g	廃棄物量(kg) の調査	379	－	今年度から排気量を計測しより正確 な排出量削減に向けて調査をした。 引き続き排出量削減に努める。
一般廃棄物の削減	工場	一般廃棄物の排出量削減 ・分別の徹底とリサイクル ・リサイクル率の向上	兼杉	k g	1,376	1,680	× ○ ○	引き続き削減できるようペーパータ オルの無駄遣いしないなど出来る ことはやっていきたい。
水使用量の 削減	本社 工場	水使用量の削減 ・現場洗面 流しっぱなし防止 ・節水表示を行う	竹内	m	939	1,077	× ○ ○	昨年度と同じく一年を通して目標 を達成することができなかったの で、目標値の再設定が必要と考 える。
化学物質使用量の 適正管理	工場	化学物質の適正管理	竹内					引き続き管理の徹底、把握を努め る。
地域貢献活動	工場	工場周辺の清掃活動	吉田	日々の清掃にて工場周辺の清掃活動が行われて いた。				引き続き清掃を行う。

*電力の排出係数0.455kg-CO2/kWhは、東京電力エナジーパートナーの2018年の調整後排出係数である。

環境関連法規等とりまとめ一覧表

改正状況確認日:2024/1/19

遵守状況確認日:2024/1/19

遵守：○、不遵守：× ↓

廃棄物処理法、市町廃棄物処理と再生利用条例		実施状況	評価
排出事業者		—	—
契約	収集業者と処分業者と個別に契約しているか	収集運搬 飯塚商店、リム-プ、万力、I7・ウォーター社 中間処理 リム-プ、万力、行田グリーンパッキング社と契約	○
	委託品目が許可されているか	当社の委託品目が許可されている	○
マニフェスト	B 2 票、D 票は 9 0 日以内に、E 票は 1 8 0 日以内に返っているか	確認している。	○
	マニフェストを 5 年間保管しているか	保管している。	○
	毎年マニフェスト報告書を県に提出しているか	提出済み	○
保管	種類、管理者名、保管量を表示しているか	表示板あり	○
	飛散、流出、悪臭がない様にしているか	飛散、悪臭なし	○
浄化槽法		実施状況	評価
浄化槽の設置届・変更届をしているか		設置届出済	○
機器の点検を年 4 回（又は 3 回）行っているか		年 6 回点検	○
清掃、水質検査を年 1 回行っているか		清掃・検査年 1 回実施（第二工場未実施）今年9月実施	○
騒音規制法		実施状況	評価
作業場	工程施設の設置・変更届を行っているか	規制基準値以内の為、提出なし	○
	騒音値は規制基準値以内か（3 種区域：昼 6 5、朝・夕 6 0 d B）	昼 5 8 d B	○
フロン排出抑制法		実施状況	評価
廃棄時 (回収・破壊)	業務用エアコン、冷凍機器類を廃棄するときに、登録しているフロン回収業者に回収させたか	廃棄実績なし	○
	フロンマニフェストを交付し、3 年間保管しているか	廃棄実績なし	○
点検	3 カ月に 1 回以上の頻度でフロン類の漏れを簡易点検しているか	3 カ月に 1 回実施	○
	修理点検記録を機器の廃棄時まで保管しているか	今年は修理無し	○
埼玉県生活環境保全条例		実施状況	評価
アイドリング	アイドリングストップを行っているか	エコドライブ推進中	○

※過去 5 年間環境関連法規等への違反はありません。また関係当局より違反等の指摘ありません。

社会・環境への取り組み

当社はエコアクション 2.1 の活動を通じ、地域や社会への貢献、環境活動を推進しています。

上尾市の中学生に職業体験を実施しました。



研究部での調合研修ではフルーツの香りを作ってもらいました。

自分のイメージしたフルーツフレーバーになるように複数の原料を混ぜていきます。

そして自分で作った香料を実際にゼリーに賦香して試食してもらいました。

製造部では実際の製造現場を体験してもらいました。原料の入れ間違い、投入量にも注意しながら慎重に調合を行いました。



今年も消防署にご協力をいただき、全員で消火訓練を行いました。また静電気火花による火災発生のしくみと、その怖さについて講義をしていただきました。



労働安全チームと合同で原料流出を想定した緊急事態訓練を行いました。

労働安全チームは他にも保護具（保護メガネ、ニトリル手袋、防毒マスク）の着用講習会を開催するなど、社員の安全と健康を守る活動を日々行っています。

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施期間 2024.1.1～2024.12.31

実施者 代表取締役 宮坂重毅

(1) 全体の確認・評価

事項	報告内容	代表者の評価
(1)環境目標の達成状況	電力・LPG・ガソリン・二酸化炭素は目標達成、都市ガス・一般・産業廃棄物、水使用量は未達成になりました。	LED化、エアコン設備更新の影響が大きい。今後も適宜設備更新を行いたい。
(2)環境活動計画の実施及び運用結果	2023年に照明のLED化、エアコンの買い替えを行った成果がとも数字に表れていました。廃棄物目標値は達成出来ていませんが、社員のゴミの分別に対する意識が高くなってきていると感じています。 水の使用量は製造量が増えると比例して多くなる傾向があるので目標値の算出について改善を検討して行きたいと思います。	設備更新には限度がある。最終的には社員全員の細かい協力が必要なので、エコアクションの活動を中心に環境活動計画をしっかりと進めて行きたい。
(3)環境関連法規のなどの遵守状況	全て遵守出来ていました。	順守されていることを確認した。
(4)外部からの苦情や要望	なし	—
(5)前回の指示事項への取組結果	香りを通して地域貢献できないか改めて検討について本年は近隣中学校の職業体験を実施できました。地域貢献としてとても良かったと思います。来年以降も実施出来ればと考えてます。基準年の考え方については各項目毎に基準年の更新をしていく方針へ変更しました。	少人数の受け入れではあったものの社員も頑張って準備、対応してくれた甲斐もあり、生徒さんには満足していただけたようだ、先生からも感謝の言葉をいただけた。また来年も行いたい。
(6)その他	特になし	—

(2) 代表者による環境方針等の変更の必要性ならびに指示事項

項目	変更の必要性	指示事項等
1. 環境経営方針	現状では特にはないと考える。	
2. 環境目標	LED化とエアコン設備更新により電気の使用量の削減は目標を大きく上回っている。今後基準年の見直しを行い、さらなる節電に取り組むべきではないか。	今年度の更新審査時に、審査員に相談する。
3. 環境活動	現状では特にはないと考える。	
4. 実施体制	現在のメンバーはエコアクション活動を熟知し、運営もスムーズになっているが、新しい社員も増えてきたので、一部メンバーの入れ替えを行ってEA活動をさらに広めることを考えたい。	メンバー全員の交代では難しいので、数人ずつ入れ替えを検討したい。
5. その他	現状では特にはないと考える。	

※年1回(3月)に実施、報告者は環境管理責任者